

パブリックコメント意見募集の結果公表

帯広市新型インフルエンザ等対策行動計画（改定原案）に対して、市民の皆様からご意見を募集しました結果について、ご意見の概要と市の考え方は下記のとおりです。ご意見をお寄せいただきありがとうございました。

寄せられたご意見等について検討した結果、帯広市新型インフルエンザ等対策行動計画を次のとおり策定することとしました。

【意見募集結果】

案 件 名	帯広市新型インフルエンザ等対策行動計画改定（原案）		
募 集 期 間	令和7年11月26日（水）～ 令和7年12月25日（木）		
意 見 の 件 数 （意見提出者数）	2件（2人）		
意 見 の 取 り 扱 い	修正	案を修正するもの	件
	既記載	既に案に盛り込んでいるもの	2件
	参考	今後の参考とするもの	件
	その他	意見として伺ったもの	件
意 見 の 受 け 取 り	持参		人
	郵送		1人
	ファクス		人
	電子メール		1人

【意見等の内容】

市民の意見の概要	件数	意見に対する帯広市の考え方
いかなる取組においても、国・道との情報共有や連携体制は必要不可欠と思われ、実践的な訓練の実施や専門人材の養成も必要です。新型インフルエンザ等の発生前における市民への情報提供・共有、学校等での基本的な感染対策の普及、ワクチンや資材・感染症対策物資の確保や備蓄も必須です。	1	【既記載】（14・15ページ他に記載） ご意見のとおり、国・道を含む関係機関との連携体制の構築や実践的な訓練の実施、人材育成等、平時からの準備が重要と考えています。 今後、市民への情報の提供・共有や物資の備蓄等、市における取組に関し、より具体的な内容の検討を進めていく考えです。

<p>ワクチンの在庫の偏りへの対応や薬剤耐性（AMR）について問題意識を持っていましたが、その内容も記載されており、計画の内容としては良いのではないかと思います。</p> <p>新しく開発されるワクチンは安全性の面で未知数の部分があり、数年後に予測しなかった副反応が出ることもあり得ます。「ワクチンを打つ打たないは個人の自由」といった環境づくりが必要と感じます。</p>	<p>1</p>	<p>【既記載】 （20・21 ページ他に記載）</p> <p>新型インフルエンザ等対策におけるワクチンの接種は、個人の感染や発症、重症化を防ぐための一つ的手段であり、接種の判断は個人の意思に委ねられるとともに、その選択は尊重されるべきものと認識しています。</p> <p>そのため、市では、市民等が適切に判断・行動できるよう、科学的根拠等に基づいた正確な情報の迅速な提供・共有等を行い、ワクチンを含む感染症危機の対応において、リスクコミュニケーションを行っていく考えです。</p>
---	----------	--

【案件の最終案】

別紙のとおり